

和歌山を知り、 地元愛を深めよう

和歌山城の歴史

2 班

10月31日の校外学習で、私たちは和歌山をまわりました。最後に行ったのは和歌山城です。和歌山市駅から徒歩15分ぐらいのところにあります。和歌山城に行って、和歌山城の歴史について調べてきました。

和歌山城は天正13年(1585年)に羽柴秀吉の弟の羽柴秀長が創建しました。秀長家が途絶えると、城代を勤めていた桑山氏が城主となりました。関ヶ原の戦いの後(1600年)、浅野幸長が37万6千石の領主となり、天守閣を建てるなどの城の大規模な増築を行いました。ほぼ現在の和歌山城の姿になったのは意外と遅く、徳川家康の十男、頼宣(よりのぶ)が入国した1619年です。徳川家の八代将軍、徳川吉宗はよしむねくんのキャラクターでも有名です。

そんな歴史を持つ和歌山城は1931年に史跡に指定されています。

和歌山城の構造

天守閣... 1846年に雷雨による落雷、1946年の和歌山大空襲により、天守閣は今までに2度全焼しています。ですが1985年に写真などをもとに再建され、現在でも和歌山のシンボルとして市民に愛されています。

門... 門には大手門と岡口門があります。大手門は城の内閣に入る正面の門で、岡口門は裏門です。



他には名称に指定されている西之丸庭園や、城にあるのは珍しい人気の動物園もあります。和歌山城には石垣がとても多くあります。石垣の積み方は時代によってちがいます。なので3種類の石垣があるので、注目して見てほしいです。動物園には動物園長というのがいて、現在ツキノワグマのベニーが園長をしています。

感想

今回和歌山城に行って、あらためて和歌山城の歴史を知ることができました。和歌山に住んでいる人にも歴史を知ってほしいです。和歌山城は、和歌山城をよく知らない人でもわかるように解説があり、外国人用のパンフレットも置いてあるので、誰でも楽しめると思います。きれいな花が咲いている時期もあるので、多くの人に来てほしいです。